

ストーカー事件・行動の記録

!

1350万人が
毎年、ストーカー
被害に遭って
います。

?

ストーカー 行為とは

ストーカー行為の法的定義は司法管轄区域によって異なりますが、一般的な定義は、

特定の人物に向けられた行動パターンで、被害者や他者の安全が脅かされたり、相当な精神的苦痛が与えられると合理的に考えられるものとされています。

ストーカーの被害に遭った場合、ストーカー行為に関連する事件や行動を記録しておくことは非常に重要です。これは、刑事司法制度や民事司法制度を利用する場合に特に役立ちます。これらの情報を記録することで、保護命令の申請、離婚や子どもの親権裁判、刑事訴追で提出することができます。また、後で個々の出来事を思い出す上でも役立ちます。

ストーカー行為に関連するすべての出来事を記録し、文書化することで、ストーカー行為の証拠を集めることができます。通報の際は、担当者の名前と通報先の警察署、バッジや身分証明書の番号を控えてください。報告を提出した場合、記録用のコピーもらうことができます。

重要な注意事項：これらの情報は、証拠として提出されたり、不注意でストーカーと共有されたりする可能性があるため、ストーカーに見られたくない情報は記録しないでください。

記録すべき事件や行動の例としては、嫌がらせや繰り返しの電話、メール、メッセージ、尾行や待ち伏せ、手紙やプレゼントの送り付け、追跡、器物破損、噂の流布、個人情報や写真の投稿、なりすまし、アカウントへのハッキング、あなたやあなたに近い人への脅迫、他人を介した脅迫などが挙げられます。

ストーカーの写真、接近禁止命令、警察の報告書、その他の関連書類のコピーを記録に添付してください。記録は安全な場所に保管し、保管場所は信頼できる人にだけ教えてください。記録のデジタルコピーをコンピューターやモバイル端末に保存する前に、ストーカーがそのモバイル端末やコンピューターにアクセスできるかどうかを考えることが重要です。

ストーカー行為の記録は、困難で精神的に負担がかかる作業です。地域の支援団体は、サポートを提供したり、選択肢に関する情報や安全計画の支援を提供することができます。



